

NEWS RELEASE

2022 年 11 月 30 日(水)17:00 リリース

玉置浩二×オーケストラ公演 2023 新ツアー開催決定！

理想郷を超えた新境地に向けてさらなる高みへ



ビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク）は、玉置浩二×オーケストラ公演ツアーの新シリーズ【billboard classics 玉置浩二 LEGENDARY SYMPHONIC CONCERT 2023 “Navigatoria”】の開催を決定した。

ソロデビュー35周年を記念して、2022年2月から6月にかけて開催されたシンフォニックツアー「Arcadia（理想郷）」全国8都市で開催されたツアー最終公演の地として選ばれた河口湖ステラシアターでは、魂の歌とオーケストラのハーモニーが富士山の麓に鳴り響き、会場を埋め尽くす観客とともに現代の理想郷へと辿りついた玉置浩二。

あの熱狂の夜からおよそ半年、新たなる新境地に向けたツアー「Navigatoria（ナビガトリア：道標）」が決定した。「理想郷」を超えたさらなる高みに向かっての「道標」となる本ツアーは、ビルボードクラシックス初開催となる沖縄を含む全国10都市18公演という過去最大規模のシンフォニックツアーとして2023年2月に幕が上がる。

各地のオーケストラを率いるのは、河口湖で最高のパフォーマンスを引き出した大友直人をはじめ、田中祐子、円光寺雅彦、柳澤寿男、湯浅卓雄といった世界で活躍する指揮者陣。数多の音楽家たちで構成される大編成のオーケストラが玉置の唯一無二の歌声と純粋な愛をさらなる高みへと導く。ビルボードクラシックスだけでしか聴くことのできない、奇跡の瞬間がここにある！

【公演情報】

■公演名： billboard classics 玉置浩二 LEGENDARY SYMPHONIC CONCERT 2023 “Navigatoria”
(読み) ビルボードクラシックス タマキコウジ レジェンダリー シンフォニック コンサート ニセン
ニジウサン “ナビガトリア”

■開催日時・会場：

- ①【東京】2023年2月23日(木祝) 東京芸術劇場 コンサートホール 開場 17:00/開演 18:00
- ②【東京】2023年2月24日(金) 東京芸術劇場 コンサートホール 開場 17:00/開演 18:00
- ③【大阪】2023年3月4日(土) フェスティバルホール 開場 16:00/開演 17:00
- ④【大阪】2023年3月5日(日) フェスティバルホール 開場 15:00/開演 16:00
- ⑤【愛知】2023年3月15日(水) 愛知県芸術劇場 大ホール 開場 17:30/開演 18:30
- ⑥【福岡】2023年3月23日(木) 福岡サンパレス ホテル&ホール 開場 17:30/開演 18:30
- ⑦【東京】2023年3月30日(木) 東京国際フォーラム ホールA 開場 17:30/開演 18:30
- ⑧【群馬】2023年4月13日(木) 高崎芸術劇場 大劇場 開場 17:30/開演 18:30
- ⑨【北海道】2023年4月24日(月) 札幌文化芸術劇場 hitaru 開場 17:30/開演 18:30
- ⑩【北海道】2023年4月25日(火) 札幌文化芸術劇場 hitaru 開場 17:30/開演 18:30
- ⑪【兵庫】2023年4月28日(金) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 開場 17:30/開演 18:30
- ⑫【兵庫】2023年4月29日(土) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 開場 16:00/開演 17:00
- ⑬【熊本】2023年5月5日(金祝) 熊本城ホール メインホール 開場 16:00/開演 17:00
- ⑭【大阪】2023年5月15日(月) フェスティバルホール 開場 17:30/開演 18:30
- ⑮【京都】2023年5月16日(火) ロームシアター京都 メインホール 開場 17:30/開演 18:30
- ⑯【東京】2023年5月25日(木) 東京ガーデンシアター 開場 17:30/開演 18:30
- ⑰【沖縄】2023年6月2日(金) 那覇文化芸術劇場なはーと 大劇場 開場 17:00/開演 18:00
- ⑱【沖縄】2023年6月3日(土) 沖縄コンベンションセンター 劇場棟 開場 16:00/開演 17:00

■出演：玉置浩二

■管弦楽・指揮：

- ①②⑯【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団 【指揮】大友直人
- ③④⑤【管弦楽】大阪交響楽団 【指揮】田中祐子
- ⑥⑬【管弦楽】九州交響楽団 【指揮】円光寺雅彦
- ⑦【管弦楽】新日本フィルハーモニー交響楽団 【指揮】田中祐子
- ⑧【管弦楽】群馬交響楽団 【指揮】大友直人
- ⑨⑩【管弦楽】ビルボードクラシックスオーケストラ with SORA 【指揮】柳澤寿男
- ⑪⑫【管弦楽】日本センチュリー交響楽団 【指揮】湯浅卓雄
- ⑭⑮【管弦楽】大阪交響楽団 【指揮】湯浅卓雄
- ⑰⑱【管弦楽】琉球交響楽団 【指揮】大友直人

■主催：ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）

【北海道】北海道新聞社、エフエム北海道、道新文化事業社

■企画制作：ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）

■協力：株式会社阪急交通社、ローソントラベル

■後援：米国ビルボード、【沖縄】沖縄県、那覇市（6/2）、宜野湾市（6/3）

■協賛：【福岡】福岡トヨタ自動車株式会社

■特別協賛：【沖縄】株式会社日建ハウジング

■公演公式サイト：<https://billboard-cc.com/classics/tamaki-navigatoria/>

【チケット情報】

■チケット価格：13,000 円（全席指定・税込）※特製ブックレット付 ※未就学児入場不可

■チケット販売スケジュール ※お一人様 1 公演につき 2 枚まで

◎玉置浩二・安全地帯オフィシャル FC「cherry」会員先行(抽選)：

2022 年 12 月 1 日(木)15:00 ～ 2022 年 12 月 7 日(水)23:59

◎ビルボードライブ法人会員先行(抽選)：

2022 年 12 月 8 日(木)15:00 ～ 2022 年 12 月 13 日(火)23:59

◎ビルボードライブ「Club BBL」会員先行(抽選)：

2022 年 12 月 9 日(金)15:00 ～ 2022 年 12 月 13 日(火)23:59

◎ローソンチケット先行(抽選)：

2022 年 12 月 15 日(木)15:00 ～ 2022 年 12 月 20 日(火)23:59

◎道新プレイガイド先行(抽選)【北海道公演のみ】：

2022 年 12 月 9 日(金)15:00 ～ 2023 年 1 月 15 日(日)23:59

※車椅子をご利用のお客様は、各公演のお問合せ先までお電話にてお問合せください。

※チケットはおひとり様 1 枚必要となります。チケットを紛失された方、または当日お忘れになった方はご入場できません。

※チケット購入の際は、必ず公式サイトに掲載している注意事項をご確認の上、チケットをお求めください。

<ご来場のお客様へのお願い： <https://billboard-cc.com/classics/notice/>>

■コンサートに関するお問い合わせ

【東京・群馬】キョードー東京 0570-550-799 (11:00～18:00／土日祝 10:00～18:00)

【大阪・兵庫・京都】キョードーインフォメーション 0570-200-888 (11:00～18:00／日祝休)

【愛知】サンデーフォークプロモーション 052-320-9100 (全日 12:00～18:00)

【北海道】道新プレイガイド 0570-00-3871 (10:00～17:00／日曜休)

【福岡・熊本】キョードー西日本 0570-09-2424 (11:00～15:00／日祝休)

【沖縄】PM エージェンシー 098-898-1331 (月～木 11:00～14:00／金土日祝休)

ビルボードクラシックス



ロック・ポップス界の実力派ボーカリストとクラシックス音楽界のマエストロが指揮する管弦楽団がコラボレーションするオーケストラコンサート。2012 年 2 月にスタートして今年で 10 周年の節目を迎え、全国の音楽専用ホール等でこれまでに 300 公演以上開催している。

公式サイト <https://billboard-cc.com/classics>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社阪神コンテンツリンク ビルボード事業本部 クラシックス事業部

メールアドレス：bbc@hcl-c.com TEL：(03) 5544-9802 FAX：(03) 5544-9806

ビルボードクラシックス公式ウェブサイト：<https://billboard-cc.com/classics/>

【添付資料】出演者プロフィール

玉置浩二



1958 年生まれ。北海道出身のシンガーソングライター。1982 年バンド「安全地帯」としてデビュー。「ワインレッドの心」、「恋の予感」、「悲しみにさよなら」など 80 年代の音楽シーンを席巻。ソロ活動で作詞も手がけ始め、「田園」「メロディー」をはじめとする多くのヒットを生み出す。2012 年には、オリジナルレーベル「SALTMODERATE」を発足。安全地帯とソロの活動を並行して行いながら、2014 年、7 年ぶりとなるオリジナル・ソロ・アルバム

『GOLD』、そして同じ時代を共有してきたアーティストの名曲を歌ったアルバム『群像の星』をリリース。2015 年・2016 年、国内外の主要オーケストラと共演するビルボードクラシック公演を実施。2016 年 6 月、バルカン特別編成交響楽団に管弦楽作品「歓喜の歌」を謹呈。2017 年、ソロデビュー 30 周年そして安全地帯デビュー 35 周年というダブルアニバーサリーイヤーでは、日本武道館で開催した安全地帯 35 周年記念ライブでは 2 日間で 2 万 5000 人の動員を

記録した。2018 年・2019 年もオーケストラ公演、ソロツアーと精力的に活動。2019 年 11 月安全地帯として約 30 年ぶりのスタジアムライブ「安全地帯 IN 甲子園球場 さよならゲーム」を敢行、3 万 8000 人を動員し、圧倒的なボーカル力で観客へ感動をもたらした。2020 年 12 月、6 年ぶりとなるニューアルバム『Chocolate cosmos』リリース。第 71 回 NHK 紅白歌合戦に 24 年ぶりの出場を果たし、オーケストラとともに披露した「田園」は、熱い感動とともに全国で大きな反響を呼んだ。

2021 年、1 月より再開されたオーケストラ公演「PREMIUM SYMPHONIC CONCERT 2021 『THE EURASIAN RENAISSANCE “O T T E Π E Λ b (オーチェペリ)”』(4 都市 6 公演)、続いて 6 月より開催の“K A Π E Λ b (カペーリ)”(7 都市 8 公演)公演では、各地で大喝采を巻き起こした。同年 9 月からはバンド編成による「玉置浩二 Concert Tour 2021 故郷楽団〜Chocolate cosmos」を全国 24 都市／27 会場にて敢行。2022 年にはソロデビュー 35 周年そして安全地帯デビュー 40 周年を迎える。

オフィシャルサイト <https://saltmoderate.com/>

大友直人（指揮）



桐朋学園大学在学中に NHK 交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている。

これまでに日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在は東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督。

東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、海外オーケストラからも度々招かれており、ハワイ交響楽団には 20 年以上にわたり定期的に招かれている。

小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK 交響楽団指揮研究員時代には W.サヴァリッシュ、G.ヴァント、F.ライトナー、H.ブロムシュテット、H.シュタインらに学び、タングルウッド・ミュージックセンターでは L.バーンスタイン、A.プレヴィン、I.マルケヴィチからも指導を受けた。

大阪芸術大学教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。

©Rowland Kirishima

田中祐子（指揮）



©sajihideyasu

平成 30 年度（第 29 回）五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。
2020 年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。
2018 年 4 月－2020 年 8 月、オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。
東京音楽大学指揮科卒業。東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。
東京国際コンクール「指揮」入選、ブザンソン国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。2012 年渡独。2013 年クロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団に招かれ海外デビュー。NHK 交響楽団をはじめ全国各地のオーケストラと共演。2015 年藤原歌劇団「椿姫」でオペラデビュー、日本オペラ協会「よさこい節」「静と義経」、アクリエひめじオープニング・池辺晋一郎「千姫」（世界初演）など実績を重ねる。
2015-16-17 年シーズン NHK 交響楽団首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ公式アシスタント。
パリ・エコールノルマル音楽院オーケストラ指揮科高等ディプロム課程修了。2022 年 4 月、名古屋音楽大学客員准教授に着任。

円光寺雅彦（指揮）



©K.Miura

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。
1980 年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィトナー氏に師事。
これまでに東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌交響楽団正指揮者、名古屋フィル正指揮者などを務め、数多くの公演を共にしながらオーケストラの飛躍的な発展に貢献してきた。N 響、読響、新日本フィル、東京フィル、東響、大阪フィル、九響をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBC ウェールズ響、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

柳澤寿男（指揮）



©木之下晃

管弦楽団等のメンバーを加え、またコリア・ブラッハー氏をソリストに迎え開催。コソボの芸術・文化の発展とオーケストラを通じた地域和平への尽力によりコソボ大統領勲章(文化功労賞)を叙勲される。また、ベオグラード国立歌劇場「ラ・ボエーム」やサンクトペテルブルク響、プラハ響等、国内外の多くのオーケストラに客演。現在、BCO 音楽監督、コソボフィル首席指揮者、ベオグラード・シンフォニーエッタ名誉首席指揮者、坂本龍一氏が音楽監督を務める震災復興のオーケストラ・東北ユースオーケストラ指揮者、京都フィルハーモニー室内合奏団ミュージックパートナー。著書に「バルカンから響け！歓喜の歌(晋遊舎)」。

湯浅卓雄（指揮）



© Peter Devlin

現在、最も国際的な活躍が目覚しい日本人指揮者の一人である湯浅卓雄は、大阪に生まれ、高校卒業と同時にアメリカに留学。シンシナティ大学音楽院作曲理論科を経て、ウィーン国立音楽大学指揮科でハンス・スワロフスキー、フランコ・フェラーラ、イーゴリ・マルケヴィッチ、ロヴロ・フォン・マタチッチに師事。

1976年 ウィーン・トンキュンストラ管弦楽団を指揮してデビュー。

1979年 フィテルベルク国際指揮者コンクールに入賞するが、その際オーケストラが独自に特別賞を授与したことが話題となり、ワルシャワ国立フィル、ポーランド国立放送交響楽団などの定期演奏会に度々登場するなど、欧州各地で着実に実績を重ねる一方、1984年から5年間群馬交響楽団指揮者も務めた。1989年から1994年までBBCスコットランド交響楽団首席客演指揮者、1997年から2005年まで英国・アルスター管弦楽団首席客演指揮者を務める一方、ロンドン・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルをはじめとする英国の主要オーケストラや、

ロイヤル・フランダース・フィル、オスロ・フィル、ラハティ響、ベルリン響、ザグレブ・フィル、シドニー響、ニュージーランド響などに度々客演。2010/11年シーズンの主な公演として、フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ポルト国立交響楽団、オーフス交響楽団などが挙げられる。海外での充実した活動に加え、日本国内にも度々帰国し、各主要オーケストラと共演を重ねている。湯浅卓雄の演奏はBBCをはじめとする世界各国の放送などにおいても度々紹介されているが、EMIとの2枚のCDに加え、1996年からは、世界有数の流通量を誇る『ナクソス』と専属契約を結び、次々とリリースされるCDは注目を集めると同時に高い評価を獲得している。とりわけ、「日本作曲家選輯」では中心的な役割を担っている。2007年井植文化賞文化芸術部門受賞。東京藝術大学、演奏芸術センター教授を経て、東京藝術大学名誉教授。

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏など、高水準の演奏活動を展開。また、海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集めている。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>

大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO（当時）樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。

楽団公式ホームページ (<https://sym.jp>)

九州交響楽団

1953 年創立。1973 年に改組、のち財団法人化を経て 2013 年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約 150 回の演奏活動を行っている。2013 年小泉和裕が音楽監督に就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第 9 番」、「マーラー／交響曲第 8 番《千人の交響曲》」「マーラー／交響曲第 3 番」の CD を発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京 2020 オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、九州交響楽団演奏の『武満徹／「波の盆」』が使用された。

新日本フィルハーモニー交響楽団

1972 年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97 年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。

99 年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(75～79 年)、第 2 代音楽監督・井上道義(83～88 年)、第 3 代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(2003～13 年)、第 4 代音楽監督・上岡敏之(16～21 年)。ダニエル・ハーディングが Music Partner of NJP(10～16 年)、インゴ・メッツマッハーが Conductor in Residence(13～15 年)を務めた。受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱 UFJ 信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞等。

佐渡裕が 23 年より第 5 代音楽監督として決定、それに先立ち、22 年よりミュージック・アドバイザーに就任している。

創立 50 周年となる 22/23 シーズンは、様々な記念演奏会を開催、定期演奏会には縁の深い指揮者達が名を連ねる。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp

公式ツイッター：[@newjapanphil](https://twitter.com/newjapanphil)

公式 Facebook：[/newjapanphil](https://www.facebook.com/newjapanphil)

公式 Instagram：[/newjapanphil](https://www.instagram.com/newjapanphil)

群馬交響楽団

1945 年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955 年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947 年から始めた移動音楽教室は、2021 年度までに延べ 643 万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994 年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け 4 カ国を巡る海外公演を実現、2014 年には定期演奏会が 500 回に達した。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されており、2020 年に創立 75 周年を迎えた。

また、2019 年 9 月に開館した「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、2023 年 4 月に就任する飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。

オフィシャル・ホームページ <http://www.gunkyo.com/>

ビルボードクラシックスオーケストラ with SORA

新しい音楽を開拓する意思のもと、関東・関西の主要オーケストラから選抜した俊英演奏家たちが集結したビルボードクラシックスオーケストラと SORA(札幌交響楽団・主席オーボエ奏者 岩崎弘昌氏によって 2008 年春に結成された 70 名以上が所属する演奏団体)による特別編成オーケストラ。これまでに、玉置浩二、山崎育三郎など多くのビルボードクラシックス公演に出演、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつと同時に、ダイナミックで華麗なビルボードクラシックスの特有の音楽表現に挑む。

日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団は 1989 年に活動を開始し、2019 年に楽団創立 30 周年を迎えた。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021 年 4 月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

琉球交響楽団

NHK 交響楽団で首席トランペット奏者を務めた祖堅方正が 1990 年に沖縄県立芸術大学教授に就任し、郷里で教鞭をとることになったことから始まる。沖縄では実力の高い奏者でもプロとして活動するための受け皿がなく、卒業後は他の都道府県に出ていかざるを得ないことを憂いた祖堅は、沖縄にプロのオーケストラを立ち上げたいという思いを募らせ、2001 年に琉球交響楽団が創設された。

定期演奏会ほか、小中高校での音楽鑑賞会や世界のウチナーンチュ大会、沖縄本土復帰記念事業など、演奏の機会は多岐にわたる。2021 年にはサントリーホールにて初の東京公演を、翌 2022 年にはシンフォニーホールで初の大阪公演を開催した。県民に親しみ愛され、国際色豊かな沖縄県の顔となる交響楽団を目指し活動している。

オフィシャル・ホームページ <https://www.ryukyusymphony.org>